

富士宮西ロータリークラブ会報 Rotary



国際ロータリークラブ第2620地区 2022-2023年度

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ

会長 今村 一徳 幹事 石川 俊洋

朝霧アリーナより



今村一徳会長

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 フォレストヒルズ内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.27 通算 1517 号 2023 年 3 月 3 日(金)

ゲストビジターの紹介

ゲスト : なし
ビジター : なし

会長挨拶

会長 今村 一徳 君

本日は、先日行われました IM の詳細については後ほど報告いたしますが本日は、私が感じたロータリークラブの大会についてお話しさせていただきます。皆さんもご存じの IM とは、インターシティミーティング。グループ、分区単位で、ガバナー補佐が主催して開かれることが多く、テーマはロータリーのことそして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならない問題点など多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから懇親会も併せて開催されます。と記載されていました。私はロータリーに入会当初に、IM、地区大会、世界大会、は何だろうと感じたことがありました IM は地区のガバナー補佐が主催で開催、地区大会は地区のガバナー主催で開催世界大会は RI 会長が主催で開催となっていることを知りました。まだ世界大会に参加したことはありませんが、まさに IM・地区大会等に参加するとロータリーの規模と世界観を知る良い機会と思いました。このような場に参加させて頂くと多くの勉強もさせていただきますが、やはり交流の場としてはメンバーの多さと規模に圧巻されます。私が入会して間もない頃、当クラブで片岡さんがガバナー補佐をされていて、まさに、このフォレストヒルズで IM を実施したことを

思い出します。入会して間もない頃なので、指示を頂いた事をこなすのが精一杯で忙しい一日と記憶しています。また、ご来場頂いたロータリーメンバーの多さにびっくりし、とても楽しく勉強になった講演を聞き、さらに終了後には大変美味しいお酒と食事を頂き、私にとっては大満足で、これが IM なんだと記憶しました。当時は新人でしたのでわかりませんでした。これを準備するのに数年前より準備していたことを知ると、当時のメンバーの皆様に頭が下がる思いがしました。また、初めて地区大会の参加は浜松で開催した時と記憶しています。その時の感想は、やはり規模の大きさとロータリーメンバーの多さに圧巻されました。このように、IM や地区大会と大変有意義な集まりですので、まだ参加していない会員には是非ふるって参加をして頂きたいと思います。良い経験が出来ると思います。

幹事報告

幹事 石川 俊洋 君

別紙幹事報告を参照ください

出席報告

☆は出席免除者

欠席者：☆外木規之 仲亀秀樹 若林眞治
早川英寿 石川俊洋 矢部英樹

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	24	23	19	4	0	82.6%

お祝い・記念日

- 会員誕生日：遠藤壽男君 (S19.3.2)、遠藤克彦君 (S28.3.3)、今村一徳君 (S35.3.9)
- 結婚記念日：片岡博昌君 (S47.3.8)、大谷裕也 (H19.3.10)

【会報委員会】 委員長：石田道彦

委員：片岡博昌 斉藤邦男 大谷裕也 岡村吉彦

- 夫人誕生日：貫名規容子様(貫名英舜君夫人) (3.1)
- 創業記念日：遠藤壽男君 (S26.3.1)、若林眞治君 (S42.3.1)、早川英寿君(H27.3.1)

本日のスマイル

- 誕生日、うれしいようになかなしいような、それでも心は若人！！ 遠藤 克彦 君
- 春が来ました。花粉もきました。 石川 俊洋 君
- お誕生日お祝いありがとうございました。 今村 一徳 君
- 健康に誕生日を迎えられて幸せです。 遠藤 壽男 君
- 桜が咲き始めましたね。 後藤 憲治 君
- 2月23日は2つの記念日ですね 片岡 博昌 君

本日のプログラム

クラブ協議会 2022～2023 年度国際ロータリー
第2620地区 静岡第2グループ インターシ
ティミーティング報告 担当 会長・幹事

今村会長

先日のIMの報告をさせていただきます。今回は、富士宮ロータリークラブの佐野和義ガバナー補佐主催で会場は、こちらのフォレストヒルズで開催されました。当初の予定では、富士宮文化会館の予定でしたが、コロナウィルス蔓延防止のために縮小版に変更した為に、こちらのフォレストヒルズでの開催となりました。2月18日(土) 2時から4時半の開催でした、交流会は無しです。また参加者は各クラブの会長幹事と浅原ガバナー、地区幹事、次期ガバナー補佐及び事務局、そしてゲストとして、松村パストガバナーと上野学友会理事が参加しました。内容につきましては、日本最初のロータリークラブ創立に貢献しました米山梅吉翁の経歴の報告と米山記念館の歴史と今後の課題の報告でした。

米山梅吉翁の歴史については、米山記念奨学生学友会理事の上野桂子さまから報告がありました。

上野様は中国生まれで日本の方とご結婚なされ、現在米山学友会理事を受けております。上野様は米山奨学生でロータリーと関わり米山梅吉翁に感銘をして現在に至っているとの事です。奨学生が終わり学友会に入っているメンバーは現在年間900名程いるとの事です。また年2回行われる例祭は、春は米山梅吉翁の命日と、秋は米山記念館建設記念日には欠かさず参加しているとの事です。皆様も振るって参加してくださいと報告がありました。

続いて、米山記念館については松村パストガバナーか

ら報告がありました。松村パストガバナーは今年度より米山記念館理事長に就任し、今後の米山記念館の方向性の報告がありました。今期より米山記念館は独立していく予定で、これは何かというと今までは2620地区が現在まで支えていましたが、今後は独立して日本国内のロータリークラブからのサポートで運営をしていく予定です。

日本のロータリー創設の礎となった米山梅吉翁の実家跡地に作られた、この記念館は日本のロータリーメンバーで支えて頂けるように提案していきます。松村パストガバナーは「奉仕の理念を推奨し、これを育む」を基本軸に実施していきます。収入を安定化して全国に向けて広報活動をして全国のロータリークラブに利用を投げかけます。まだまだこの米山記念館の存在を知らないクラブもあるので、広報活動は率先して実施します。またそれに伴い50年たった記念館の老朽化修復の資金つくりにもしていきたいと思っています。その為の具体的な寄付額として、各クラブより年間10,000円、個人から年間3,000円の寄付のお願いをさせて頂く予定です。重ねて、年に1回は米山記念下での移動例会の利用もお願いとなりました。今回のIMでは、米山記念館にIMより12ロータリークラブより寄付を50万円しました。

お土産は、牧野酒造のお酒とかのうや叶屋の焼きそばセットと富士山のカレンダーでした。変速のIMでしたが、終始和やかで大変良かったと思います。富士宮のメンバーは急な変更で大変だったと思いますが、素晴らしい内容に収まっていた。交流会が無かったのは残念でしたが、次回には楽しみにしたいと思います。当クラブのIM担当は、なんとあと5年後です。計画的に素晴らしいIMが実施できることが願います。



石川幹事

去る2月18日(土)午後2時開会の点鐘が国際ロータリー第2620地区静岡第2グループ佐野ガバナー補佐によって鳴らされた、コロナ禍の中当初は、富士宮RCのホストで富士宮市民文化会館大ホールにて12RCが、一同に集結して行われる予定だった。しかし新型コロナウイルスの感染が再び拡大して静岡県下でも感染者が日々増加し、各クラブ会長・幹事のみ参加、会場もフォレストヒルズに変更になり縮小しての開催となった、私も今村会長と共に参加させていただいた。

人数制限での縮小開催となったが、内容は変更せず式典から本会議へ進められた。今回のインターシティミーティング(以下IM)の開催テーマは、『米山梅吉翁の想い』と題されサブタイトルが『～ロータリーの聖地～日本のロータリークラブの祖である米山梅吉翁の歩みと、ロータリークラブの歴史が紹介された。そして今から57年前に米山梅吉翁の故郷長泉町の米山別邸を、米山梅吉記念館として保存しようという動きが始まった静岡・山梨・神奈川の地区で保存運動と募金活動が始まり全国へと広まった。数々の困難を乗り越え、現在の米山梅吉記念館が有り、この中で米山記念奨学会も発足され現在に至っている。

梅吉翁は、東京で生まれ幼くして父親を亡くし母親の実家である長泉の米山家の養子となった。アメリカ留学を経て帰国後、自らの信念である『人間は自分の稼業以外に何か社会公衆のために奉仕するところが無くては、人間としての義務を果たしたとは言えない』から、仕事を通じて社会奉仕を行うアメリカ発のロータリーの考えに共鳴し日本初の東京ロータリークラブの初代会長となった。長泉町内の小学校では、梅吉翁の命日を米山デーとし道路清掃活動など奉仕作業を行っている。

本会議では、米山記念奨学生学友会理事の上野氏を招いての講演があり米山梅吉翁の功績を記念して発足された米山記念奨学会の活動紹介や、事業創設の背景である「日本の生きる道は平和しかない、それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには一人でも多くの留学生を迎え入れ平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くことが、最も日本のロータリーにふさわしい国際奉仕事業である。」という考えのもと創設されたことなどが紹介され奨学生たちがまさに今の国際奉仕活動の橋渡し役となり活動されている。

そのあと公益財団法人米山梅吉記念館理事長の松村氏による米山梅吉記念館の現状が報告され今後の記念館の運営が、単独の運営になること記念館の運営のための

資金集めのことなど厳しい現実が語られた。

ロータリーの聖地である米山梅吉記念館が、我々の所属する2620地区の静岡第2グループの中にあることを誇りにこれからもできる限りの協力はしていきたいと思う。

本会議最後には静岡第2グループからの寄付金と第2グループ12クラブの会長が揃い今後の米山梅吉記念館の永続的な存続を願い松村理事長に向けてメッセージが送られた。

最後にロータリーとは何か?

- ①ロータリーとは、奉仕の人を育てるところ
- ②奉仕の人とは、人のために尽くして自らの喜びとする人

米山梅吉翁の教え

「自分にしてほしいことは、人々にもそのようにしてあげよう。」

大変有意義で素晴らしい会議だったと感じました。



●渡邊奈津実君が例会動画を視聴しました。こちらも出席扱いになります。皆様もご活用ください。

